

事項	中区において発見された不発弾について
内 容	1 不発弾発見に係る対応 (1) 発見日時 令和7年2月14日（金）午後4時00頃 (2) 発見に至る経緯 名古屋市中区丸の内二丁目13番12号において、建築工事の基礎工事に伴う掘削中に、工事作業員が不発弾らしきものを発見し、陸上自衛隊により不発弾であることが確認された。 (3) 不発弾の形状 米国製 250 キログラム焼夷爆弾 ・ 信管あり（弾頭、弾底の2箇所） ・ 直径 36 cm 長さ約 120 cm (4) 合同対策本部の設置 ア 本部の名称 名古屋市中区不発弾処理合同対策本部 イ 本部長 中区長 ウ 設置日時 令和7年2月14日（金） 午後9時40分 エ 合同対策本部全体会議（各関係機関、区政協力委員等が参加） 令和7年2月25日（火）、令和7年3月13日（木）の計2回開催 (5) 広報 ア 避難対象区域内の住民等に対して広報チラシを計2回全戸配付 イ 名古屋市公式ウェブサイト、名古屋おしえてダイヤル 等 2 処理作業当日（令和7年3月20日（木・祝））における対応 (1) 避難対象区域 不発弾処理現場から概ね半径200メートル以内の区域 (2) 避難対象世帯数及び人数 1,209 世帯 1,911 人 (3) 避難場所及び避難者数 丸の内小学校 避難者 6 人

(4) 交通機関等への影響

ア 交通規制

市道本町通、魚ノ棚通等の一部を通行止め

イ 名古屋市営バス

栄 13 系統についてう回運行（休止バス停発生）

(5) 動員数

陸上自衛隊員、区役所職員、市税事務所職員、警察署員、消防職員、区内公所職員、消防団員等、計 214 人が、不発弾の安全化处理、避難対象区域住民の避難誘導及び周辺の警戒等に従事

(6) 経過

時 間	内 容
午前 8 時 30 分	避難広報開始、避難場所開設
午前 9 時 00 分	警戒区域の設定（災害対策基本法第 63 条）
午前 9 時 00 分～	避難誘導、防火警備開始
午前 9 時 30 分～	道路交通規制開始
午前 9 時 55 分	避難広報・誘導完了
午前 10 時 00 分	信管除去作業開始
午後 0 時 16 分	信管除去後、本部長による安全宣言 警戒区域の廃止、避難解除、道路交通規制解除
午後 0 時 45 分	避難場所閉鎖
午後 0 時 59 分	不発弾搬出
午後 1 時 14 分	当日の活動を終了

(7) 今後の不発弾処理作業日時

ア 令和 7 年 2 月 24 日（月）に発見された不発弾（不発弾 B と呼称）

令和 7 年 4 月 5 日（土）午前 10 時 00 分から

イ 令和 7 年 3 月 1 日（土）に発見された不発弾（不発弾 C と呼称）

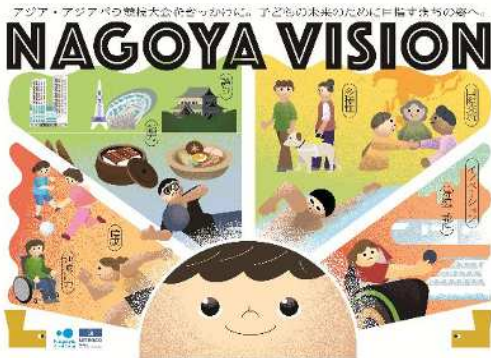
令和 7 年 4 月 20 日（日）午前 10 時 00 分から

備考

事項	シティプロモーションのブランドロゴ、サイト・動画の公開について
内容	1 趣旨 シティプロモーションのブランドロゴ、シティプロモーションサイト、プロモーション動画を作成し、本日より公開します。 作成にあたり、各局区室の皆様には多大なご協力をいただきありがとうございました。引き続きシティプロモーションを全庁的な取り組みとして推進していくにあたり、ブランドロゴの活用等に関し積極的にご協力いただきますようお願いいたします。 2 ブランドロゴについて  The logo features a stylized orange heart shape on the left, composed of two interlocking loops. To its right, the word "NAGOYA" is written in a bold, orange, sans-serif font. Below "NAGOYA" is the Japanese phrase "やさし、あたらし、名古屋" in a smaller, orange, sans-serif font. At the bottom, the English phrase "Open hearts, endless possibilities" is written in a smaller, orange, sans-serif font. (デザイン、色について) なごやの「な」と「やさしさ」を象徴する「ハート」を掛け合わせたデザイン。マークを回転させることで、よりハートに見える遊び心あるデザインです。 左上には、名古屋市民になじみ深い「まるはち」をあしらひ、あえて「とめ」や「はらい」をあべこべにすることで、そういったユニークさを許容し、楽しんでくださる名古屋市民のこころの大きさを表現しています。 包み込むようなあたたかさや、これからも名古屋が変わっていくという革新性や力強さを、赤みのあるオレンジ色（柿色）で表しています。

	3 シティプロモーションサイト「やさなご」について 名古屋が1位のもの、生活のしやすさ、訪れたくなるエリア、知ったらもっと名古屋が好きになる豆知識などを詰め込んだシティプロモーションサイト「やさなご」を公開しました。 (URL) https://www.promotion.city.nagoya.jp/  4 プロモーション動画について 名古屋に住んでいる・名古屋で働いている方には、名古屋の良さを改めて認識していただくこと、名古屋市外に住んでいる方には、まだ見ぬ名古屋の魅力を知ってもらうことを目指して、「共感」と「発見」をテーマに制作しました。 <フルバージョン (1分47秒) > (URL) https://www.youtube.com/watch?v=h2JCtYr3pag  <15秒バージョン> (URL) https://m.youtube.com/watch?v=gLF1VHS1N7A 
備考	本件は、令和7年3月24日に市政記者クラブに資料提供します。 (企画部企画課シティプロモーション推進担当 内線 4450)

事項	各局区室人材育成ポリシーの策定について
内容	「名古屋市人財戦略ビジョン」の策定を契機として、全庁的な人材育成の機運を醸成するため、各局区室長の考える組織の使命や、人材育成において重視すべき観点を職員へ発信していくための各局区室個別の「人材育成ポリシー」が策定されましたのでご報告いたします。 1 人材育成ポリシーについて (1) 趣旨 職員が誇りや使命感を持ち、モチベーション高く職務を遂行できるよう、各局区室として所管する職務の使命や理念などを明確化し、職員への浸透を図るとともに、組織内の人材育成推進に係る機運の醸成を図るもの。 (2) 内容 別添資料のとおり 2 「人材育成ポリシー」メッセージ動画について (1) 趣旨 人材育成ポリシーに込めた想いや作成にかかる背景などを踏まえた各所属のトップによるメッセージ動画を作成することで、ポリシーの現場職員への浸透を図るとともに、人事異動等において人が移り変わる中においてもポリシーを継続的に伝承することを図る。 (2) 内容 人材育成ポリシーに掲げた「使命」「人材育成の方向性」に込めた想いについての各局室長へのインタビュー等。 (3) その他 ・人材育成ポリシー及びメッセージ動画については、イントラネットの人事課のページに掲載いたします。(令和7年4月以降に掲載予定) www.intra.city.nagoya.jp/somu/jinji/new_ikusei/jinzai_ikusei.htm ・メッセージ動画については、研修等での放映など、職員向けの人材育成・キャリア形成の機会での活用のほか、採用に係る業務説明会等での利用など、職員採用への活用も想定しています。
備考	

事項	「2026アジア・アジアパラ競技大会NAGOYAビジョン」の改訂及びPRデザインについて
内容	1 2026アジア・アジアパラ競技大会NAGOYAビジョン (1) ビジョン改訂の趣旨 大会の開催は、経済波及効果をはじめ本市の知名度の向上など、さまざまな効果が期待できます。本市では、大会を「触媒」として一過性のスポーツイベントで終わらせることなく、開催効果をスポーツの振興をはじめ、交流人口の拡大、国際交流の促進、共生社会の実現、国際競争力の強化、都市環境整備の促進など、さまざまな分野につなげていくことが重要であると考えています。 NAGOYAビジョンは、「夢や希望をはぐくみ、誰もが自分らしく生きる」「アジアとともに歩み、更なる飛躍を遂げる」をコンセプトに、大会の開催を契機として本市がめざすまちの姿を明らかにするために策定をしました。 (2) 市民への周知 ビジョン本冊子の閲覧及び配架を次のとおり実施します。 ○閲覧・配架開始日 令和7年3月24日（月） ○閲覧・配架場所 市公式ウェブサイト、市民情報センター、区役所情報コーナー、支所、図書館、生涯学習センター 等 2 2026アジア・アジアパラ競技大会NAGOYAビジョンPRデザイン NAGOYAビジョンの理解促進と広報・PRを目的にデザインを作成したものです。こちらのデザインは、ユネスコ・デザイン都市なごや推進実行委員会のご協力を得まして、^{しらさわまさお}白澤真生さんにご作成をいただきました。 なお、こちらのPRデザインは、名古屋市役所庁舎地下連絡道にて掲出をさせていただきます。  <白澤氏のプロフィール> drawrope(ドロロープ) グラフィックデザイナー / アートディレクター ^{しらさわまさお}白澤真生 / Masao Shirasawa 1983年長野県生まれ、2005年名古屋芸術大学テキスタイルコース卒業、2019年 ドロロープ名義で独立。 名古屋芸術大学非常勤講師、愛知県芸術大学非常勤講師。 主な受賞歴に、Cannes Lions グランプリ、One Show 金賞、NY ADC 銀賞など。 文字や幾何学的イラストを使ったアートワークを得意とし、近年、テキスタイルの作品も発表。

備 考	本件は本日、市政記者クラブに資料提供します。
--------	------------------------

(アジア・アジアパラ競技大会推進課 内線 4616)

事項	「名古屋市総合計画2028」本冊子等の公表について
内容	「名古屋市総合計画2028」（令和6年10月策定）について、別添のとおり本冊子（カラー製本版）を作成するとともに、総合計画を広く市民の皆様にご覧いただき、理解を深めていただけるよう、新たに「名古屋市総合計画2028パンフレット」を作成いたしました。 これらについて、次のとおり公表いたします。 1 公表 「名古屋市総合計画2028」本冊子（カラー製本版）及びパンフレット 令和7年3月24日（月） 2 広報 (1) 市公式ウェブサイトに掲載 (2) 市民情報センター、区役所情報コーナー、支所などに配架 ※「名古屋市総合計画2028」本冊子（カラー製本版）は、市民情報センター及び名古屋都市センターで販売いたします。（2,150円／冊）
備考	本件は本日、市政記者クラブに資料提供します。



幹 部 会 報 告 事 項
令 和 7 年 3 月 2 4 日
ス ポ ー ツ 市 民 局

事項	3×3（スリーエックススリー） NAGOYA CENTRALCUPの開催について
	1 趣 旨 市と名古屋スポーツコミッションが連携し、アーバンスポーツの振興のため東海地区のトップチームが集う 3×3（スリーエックススリー）NAGOYA CENTRALCUP をオアシス 21 で開催します。 また、アジア・アジアパラ競技大会の機運醸成のためのPRブースや、新技術を活用したスポーツやeスポーツが体験できるブースの出展等を併せて実施します。 2 イベント概要 (1) 日時 令和7年3月29日（土）、3月30日（日） 午前10時から午後4時まで (2) 場所 オアシス 21 銀河の広場 3 内容 (1) U12 の部、B. LEAGUE 所属 U15 の部、トップチームによる 3×3 の大会 (2) 誰でも参加できるフリースロー体験 (3) 中京大学附属中京高校チアリーディング部によるパフォーマンス (4) 新技術を活用した体験ブース (5) e スポーツ体験ブース (6) アジア・アジアパラ競技大会 PR ブース など 4 その他 名古屋スポーツコミッションは、多様なスポーツの力を活かして、スポーツチームや民間企業と連携して地域活性化を図り都市ブランドの向上につなげていく、官民連携の組織です。
備考	本件については、3月21日（金）に市政記者クラブに資料提供しました。

（スポーツ推進部スポーツ戦略課 内線3294）

3x3

NAGOYA CENTRAL CUP

観戦無料

03.29 SAT U15 3x3 CUP
中京大学附属中京高等学校
チアリーディング部
パフォーミング
(29日のみ)
& U12 3x3 CUP 11:00 - 16:00

03.30 SUN PRO 3x3 CUP
エリア屈指の3x3チームが
名古屋で大激突!
11:00 - 16:00

Logos: NAGOYA CENTRAL CUP, 138, S.O.N.E, RAZORBACK, YAMAZAKI UNITED, SEAHORSES MIKAWA, AICH-NAGOYA 2026

家族で楽しめる
無料体験ブース

まちなかスポーツなごや

10:00～16:00 オアシス21 銀河の広場



TRUST PLAYGROUND
DIDIM

AR式室内運動プラットフォーム
 床に投影された映像を見ながら直感的に運動ができます。

スポーツ科学センター
ARROWZ

最先端のフィジカル検診センター
 最先端のスポーツ科学で、跳躍能力やスポーツビジョン能力を数値化できます。

eSPORTS体験ブース

(30日のみ)

名古屋市港区が
3x3の競技会場

第20回 アジア競技大会
Aichi-Nagoya 2026

第5回 アジアパラ競技大会

PRブース

20th Asian Games Aichi-Nagoya 2026
5th Asian Para Games Aichi-Nagoya 2026

主催：名古屋市・名古屋スポーツコミッション

事項	第10回男女平等参画基礎調査の結果について
内容	第10回男女平等参画に関する基礎調査を以下のとおり実施し、このたび、調査結果(報告書)を取りまとめましたので公表します。 1 調査目的 男女平等参画推進なごや条例第19条に基づき、市民の男女平等参画に関する意識や実態を把握するために概ね5年ごとに実施しており、経年変化を総合的に捉え、新たな計画策定の貴重な基礎資料とするとともに、社会の実態を市民の皆さまへ情報発信するために実施しました。 2 調査概要 (1) 調査対象 市内に在住する満18歳以上80歳未満の方 4,000人(男女各2,000人) (2) 調査期間 令和6年7月11日～8月2日(郵送・WEB回答) (3) 有効回答数 1,800人(有効回収率45.0%) 3 調査項目 (1) 男女平等意識や家族等について (2) 地域での活動について (3) 労働について (4) 人権に関わる問題について (5) 行政課題について 4 閲覧場所 区情報コーナー、市民情報センター、図書館など(令和7年3月25日より閲覧可) ※令和7年3月24日より市公式ウェブサイトに掲載 【主な調査結果】 ○社会全体における<u>男女の地位の平等感</u>について、「男性の方が優遇されている」又は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が76.7%を占める。 ○「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という<u>固定的な性別役割分担意識</u>について、「反対」又は「どちらかといえば反対」は67.4%、「どちらかといえば賛成」又は「賛成」は31.2%であった。 ○<u>家事・子育て・介護の役割分担</u>について、希望する分担は男女ともに「自分と配偶者等とで5割ずつ分担」が最も多い(女性52.2%、男性42.7%)が、<u>実際の分担</u>は女性に偏っている。 ○<u>男性の育児休業取得</u>について、男女ともに8割以上が「推進すべき」又は「どちらかというとも推進すべき」と答えた。 ○女性の28.4%(約4人に1人)、男性の12.4%(約8人に1人)は、<u>配偶者等や交際相手からの暴力(DV)</u>の被害経験がある。
備考	本件は、本日、市政記者クラブに資料提供します。

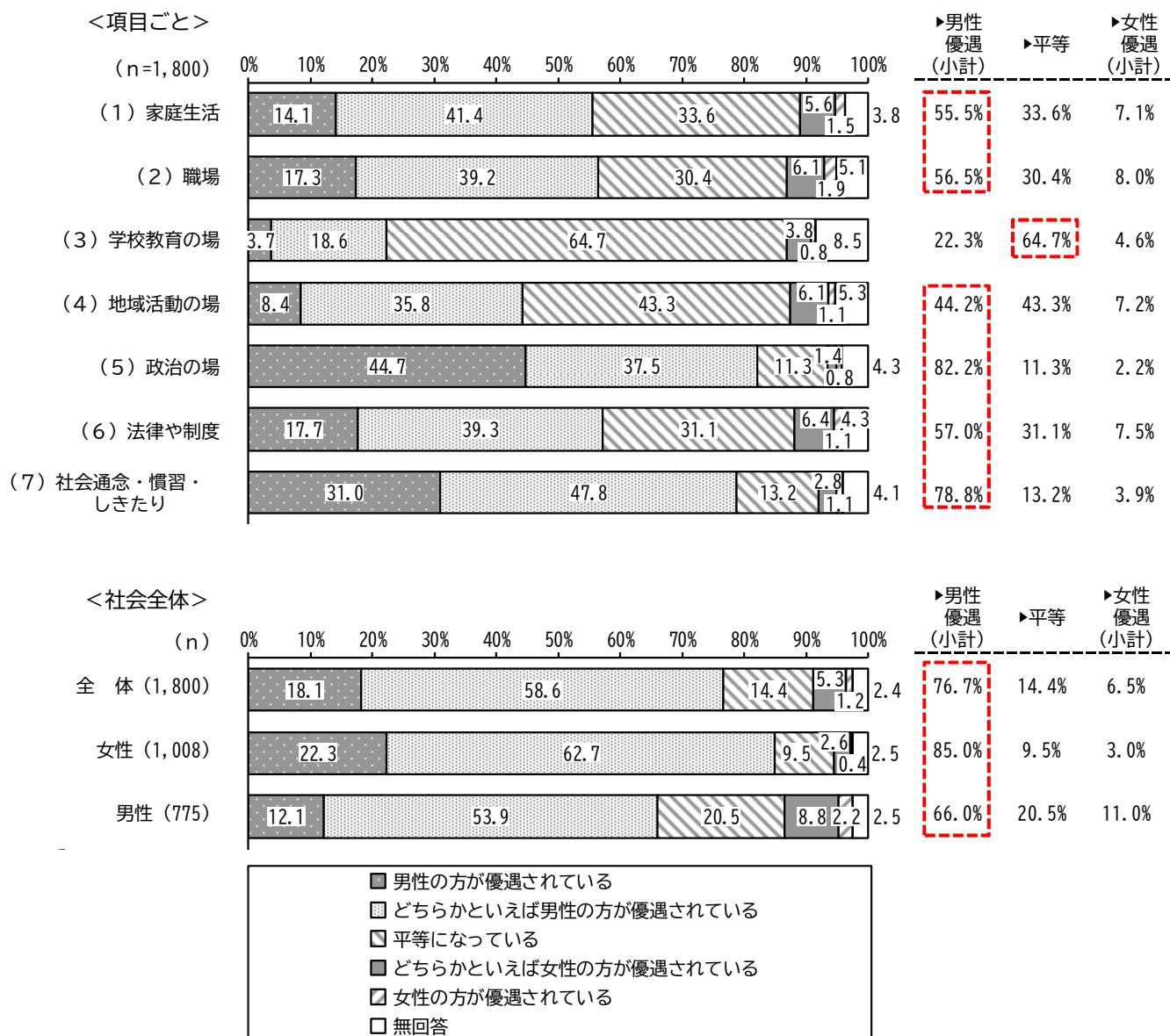
I 男女平等意識や家族等について

男女の地位の平等感

⇒ 冊子 22～39 ページ

- 項目ごとでは、学校教育の場を除き、「男性の方が優遇されている」又は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が多い。
- 社会全体では、「男性の方が優遇されている」又は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が多い（全体 76.7%、女性 85.0%、男性 66.0%）。

問 あなたは、次にあげる項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。（単一選択）



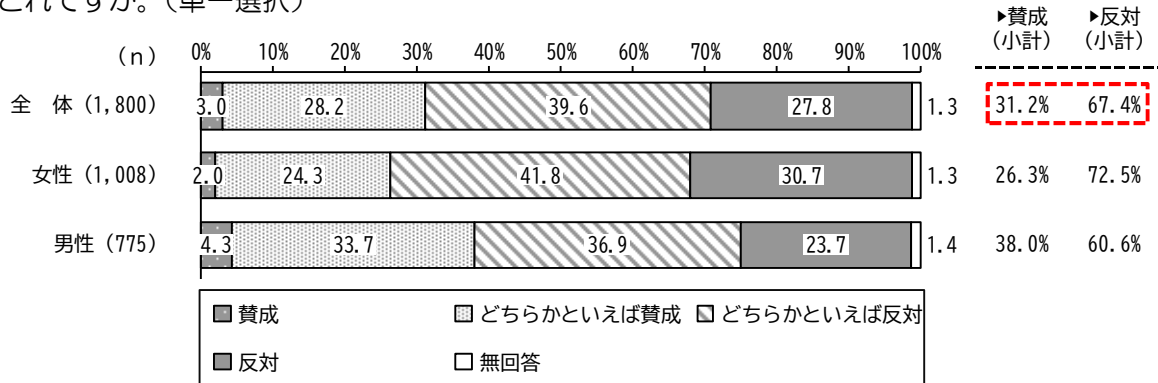
※前回調査では「わからない」という選択肢を設けていたが、今回調査から削除しているため、前回調査との単純比較はできない。

性別役割分担意識

⇒ 冊子 40～43 ページ

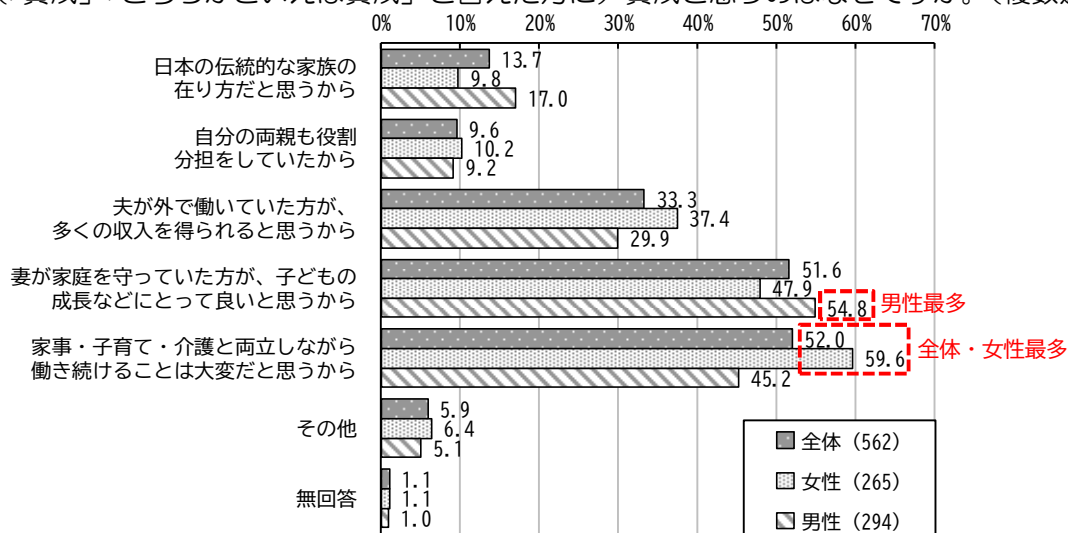
➤ 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という固定的な性別役割分担意識について、「反対」又は「どちらかといえば反対」は67.4%、「どちらかといえば賛成」又は「賛成」は31.2%。

問 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。（単一選択）

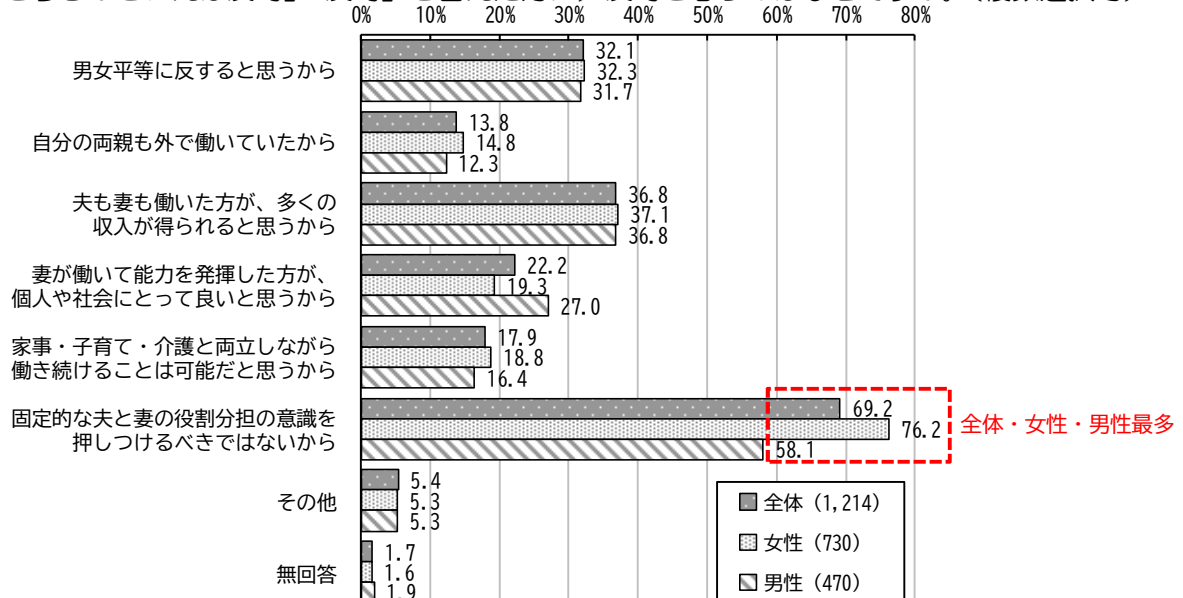


※前回調査では「わからない」という選択肢を設けていたが、今回調査から削除しているため、前回調査との単純比較はできない。

問 （「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方に）賛成と思うのはなぜですか。（複数選択可）



問 （「どちらかといえば反対」「反対」と答えた方に）反対と思うのはなぜですか。（複数選択可）



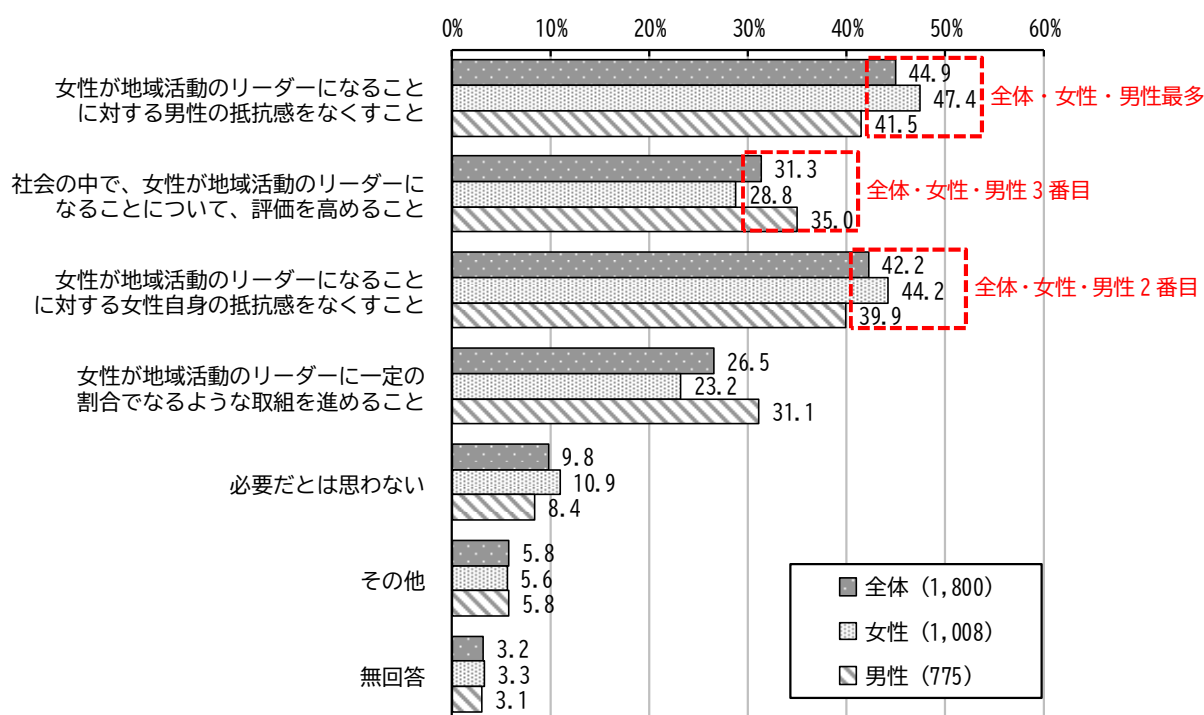
Ⅱ 地域での活動について

地域における方針決定過程への女性の参画

⇒ 冊子 52～53 ページ

- 女性が地域での活動のリーダーになるために必要なことについて、回答の多かった上位3項目は
- ①女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと
(全体 44.9%、女性 47.4%、男性 41.5%)
 - ②女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
(全体 42.2%、女性 44.2%、男性 39.9%)
 - ③社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、評価を高めること
(全体 31.3%、女性 28.8%、男性 35.0%)

問 地域における方針決定への女性の参画についておたずねします。あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域での活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数選択可）



Ⅲ 労働について

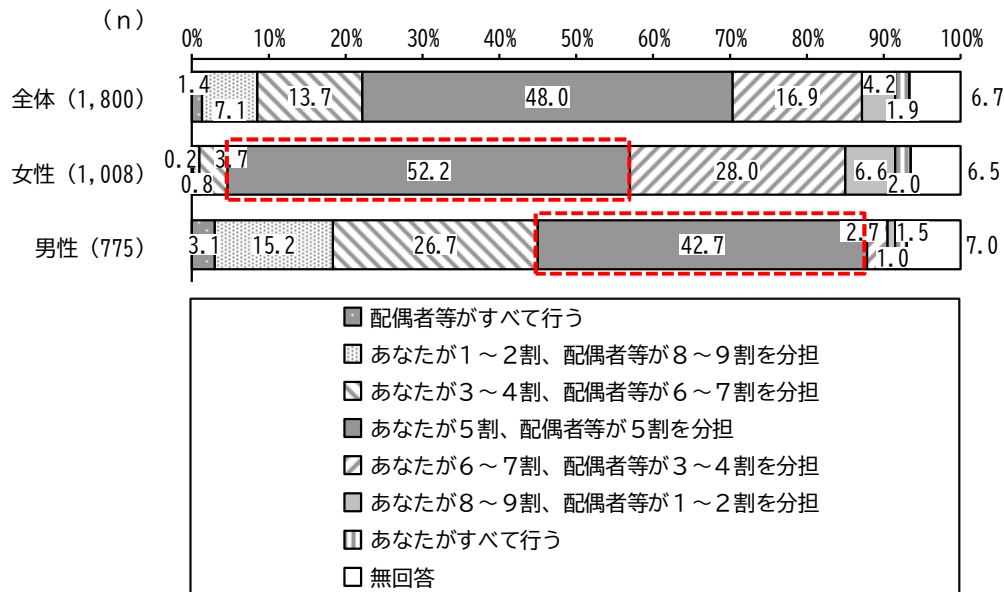
家事・子育て・介護の役割分担

⇒ 冊子 63～64 ページ

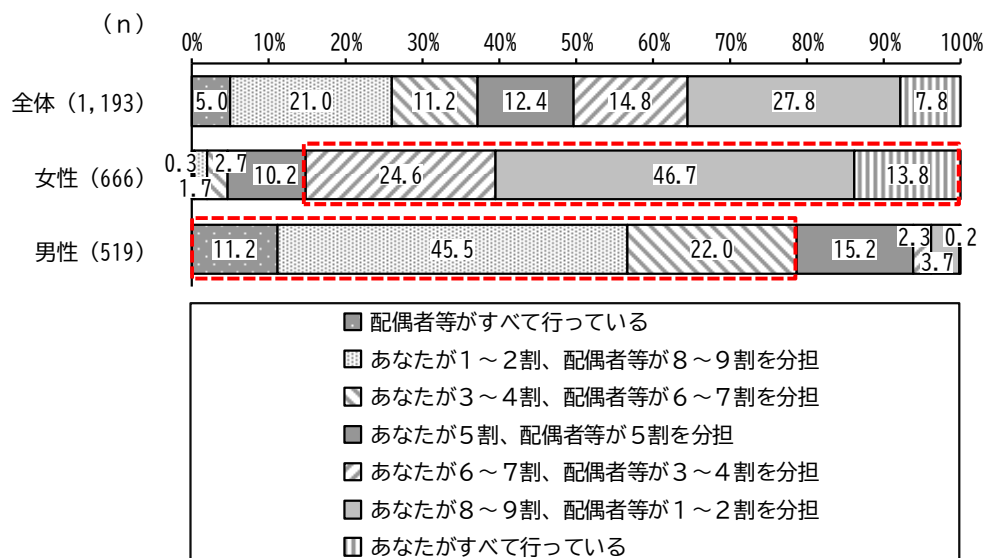
- 家事・子育て・介護の役割分担について、希望する分担は男女ともに「自分と配偶者等とで5割ずつ分担」が最も多い（女性 52.2%、男性 42.7%）が、実際の分担は女性に偏っている。

問 配偶者やパートナー（以下「配偶者等」という。）の間の家事、子育て、介護などの役割の分担についておたずねします。

配偶者等の有無や、家事、子育て、介護などを行っている、していないに関わらず、あなたが希望する分担をお答えください。（単一選択）



問 （配偶者等と同居している方に）実際に、どのように家事、子育て、介護などを分担していますか。
 なお、同居親族が担う役割は含まずにお答えください。（単一選択）

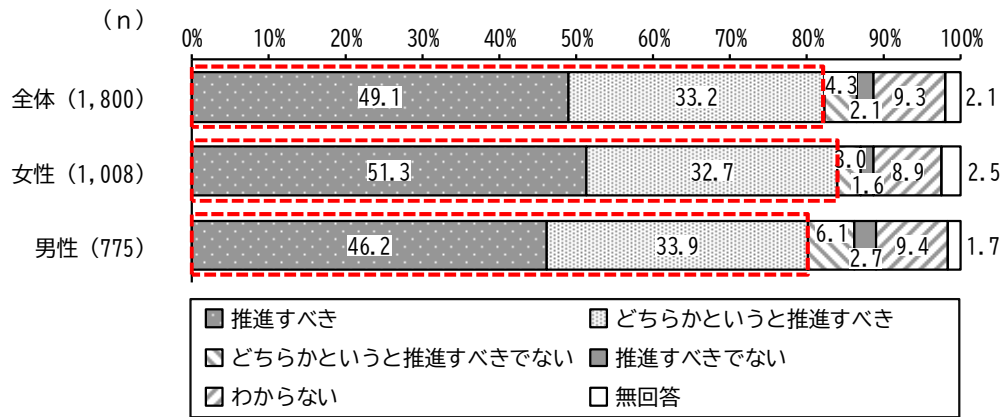


男性の育児休業の取得

⇒ 冊子 65～68 ページ

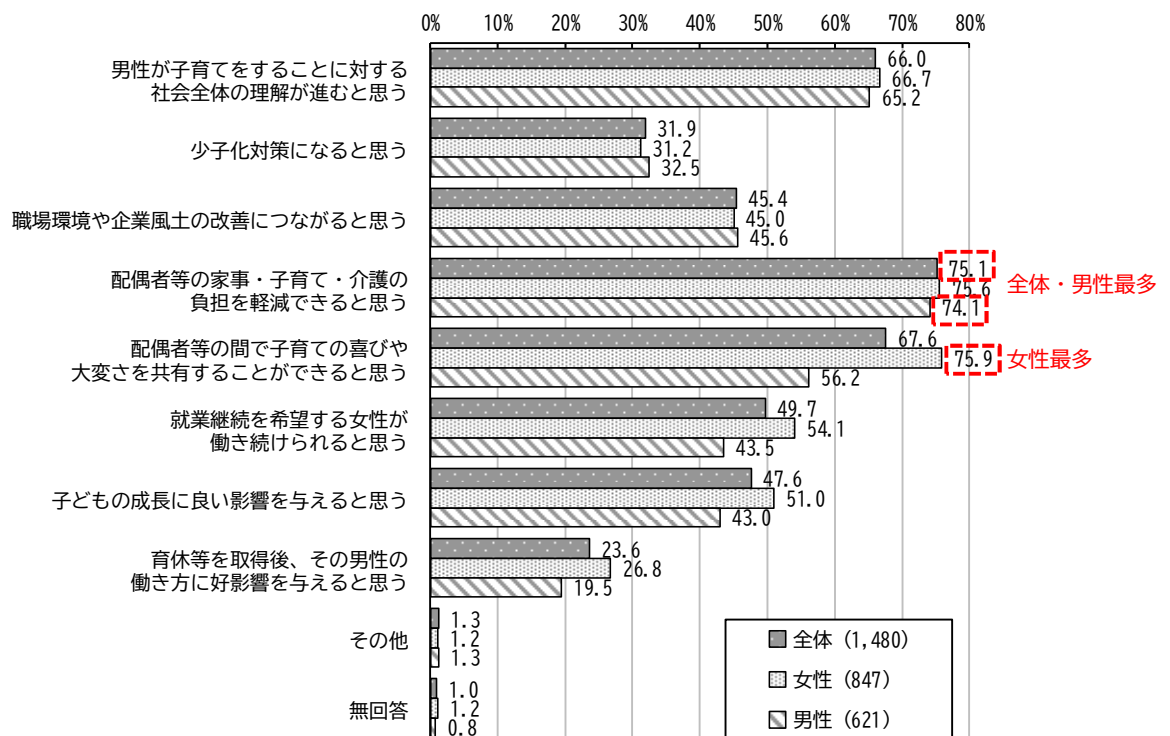
- 男性の育児休業取得について、男女ともに8割以上が「推進すべき」又は「どちらかというと推進すべき」と答えた。（全体 82.3%、女性 84.0%、男性 80.1%）

問 男性の育児休業の取得についておたずねします。あなたは、男性が育児休業を取得することについてどう思いますか。（単一選択）



問 （「推進すべき」「どちらかというと推進すべき」と答えた方に）

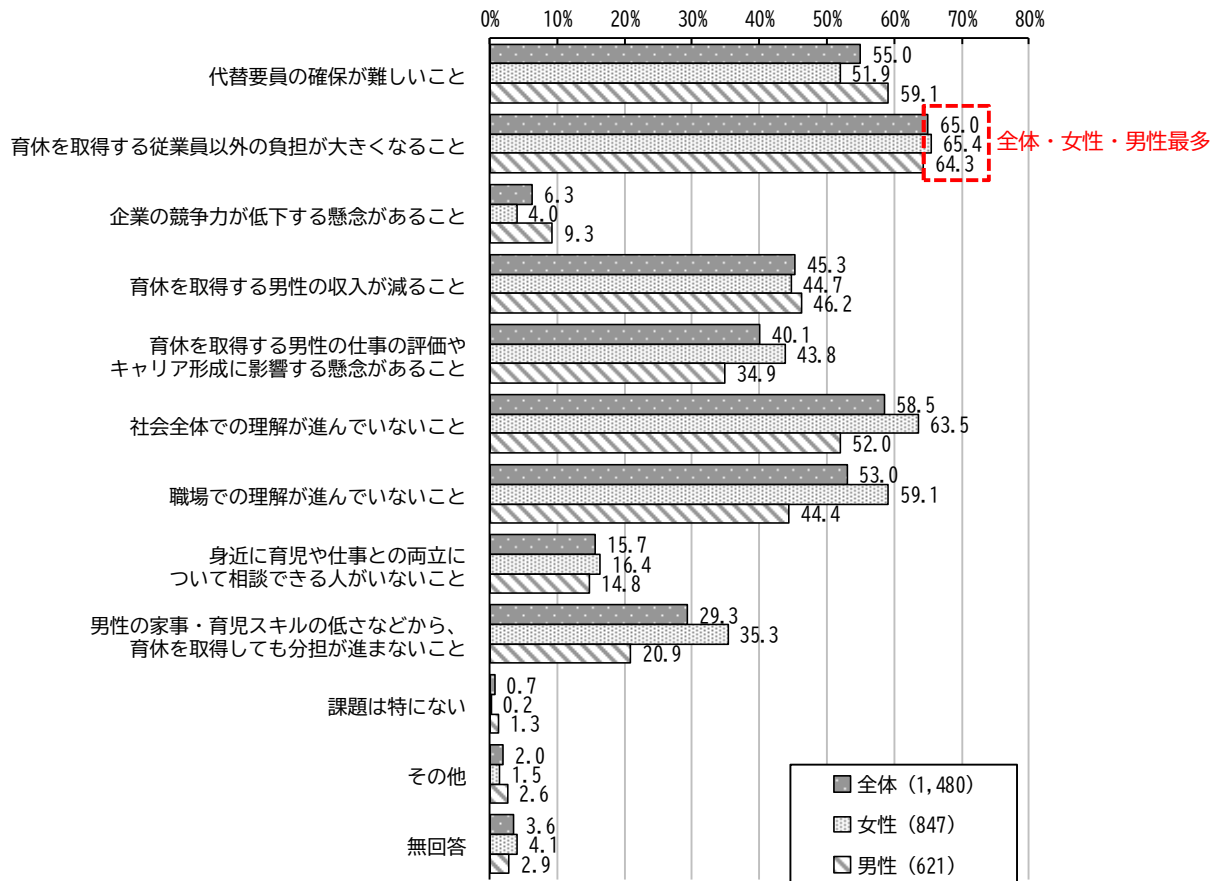
あなたは、男性が育児休業を取得することで、どのようなメリットがあると思いますか。（複数選択可）



第10回男女平等参画基礎調査報告書（概要版）

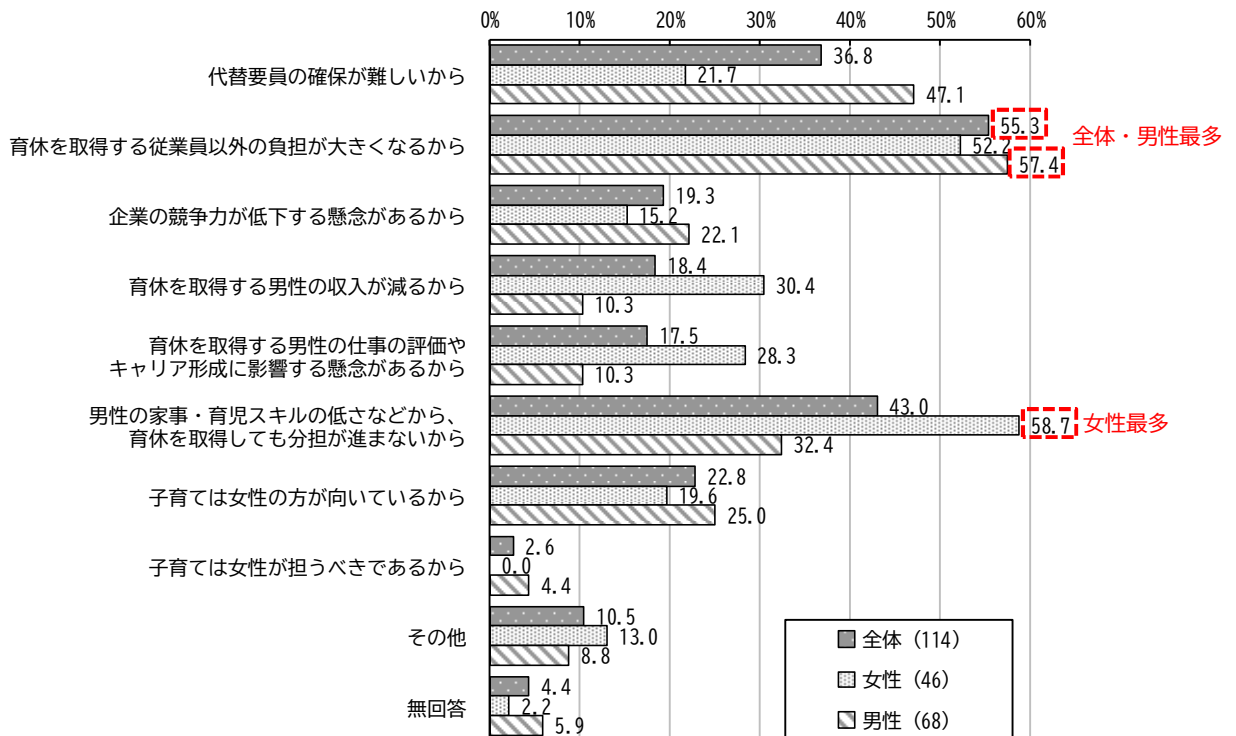
問 （「推進すべき」「どちらかというとな推進すべき」と答えた方に）

あなたは、男性が育児休業を取得するうえで、どのようなことが課題だと思いますか。（複数選択可）



問 （「どちらかというとな推進すべきでない」「推進すべきでない」と答えた方に）

そう考えるのはどのような理由ですか。（複数選択可）



Ⅳ 人権に関わる問題について

あらゆる暴力の被害経験

⇒ 冊子 70～82 ページ

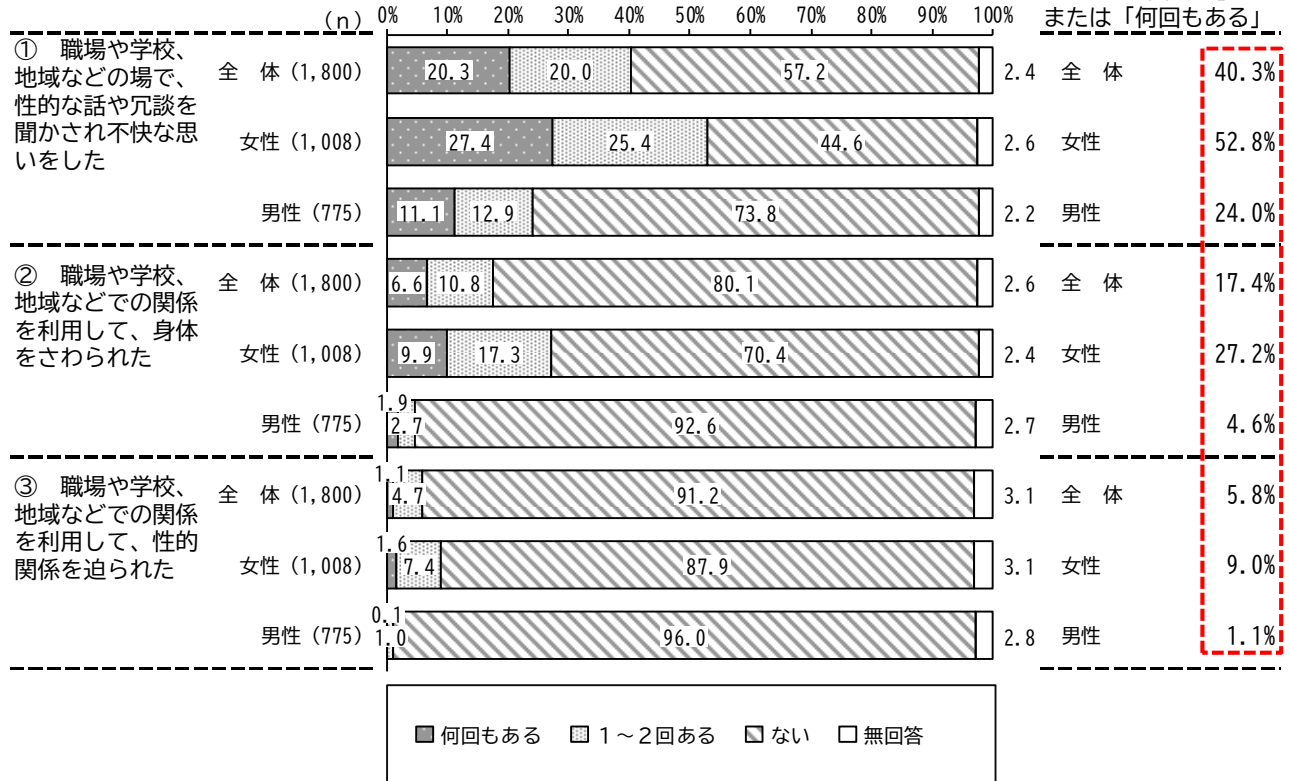
問 あなたは、次のような被害を経験したことがありますか。（単一選択）

・セクシュアル・ハラスメント

n=1,874

▶ 「1～2回ある」

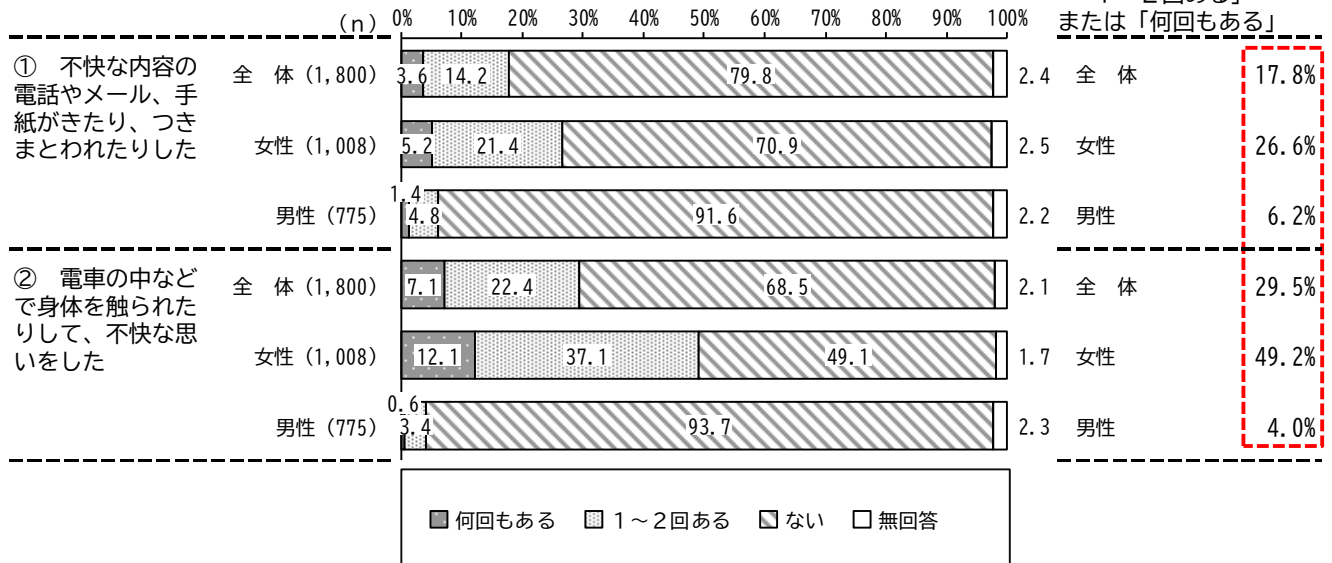
または「何回もある」



・ストーカー・痴漢行為

▶ 「1～2回ある」

または「何回もある」

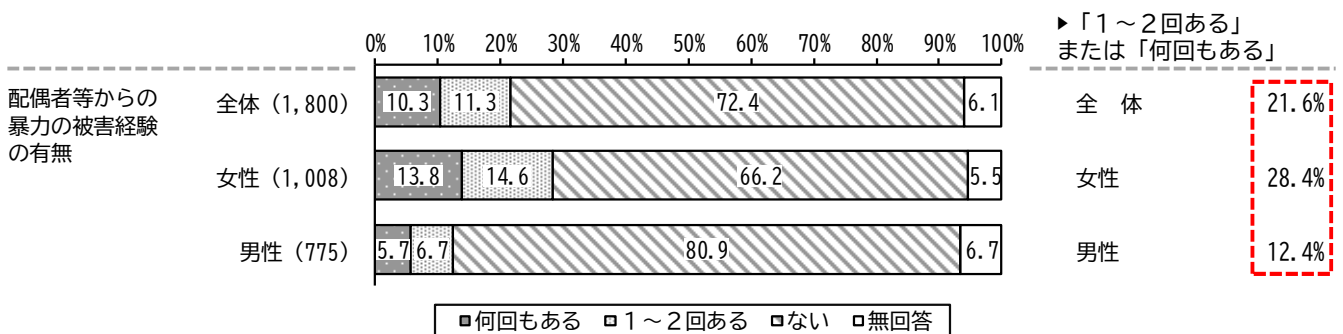


・配偶者等や交際相手からの暴力（DV）

（以下①～④のいずれか1つ又は複数経験したことがある割合）

- ①身体的暴行（殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの暴行）
- ②心理的攻撃（人格を否定するような暴言、交友関係の監視・制限、長期間無視するなどの嫌がらせ、自分や家族に対し刃物を突きつけるなどの脅迫）
- ③経済的圧迫（家計に必要な生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使う、デート代や生活費を無理やり払わせる、外で働くことを妨害されるなど）
- ④性的強要（嫌がっているのに性的な行為を強要する、見たくないポルノ映像等を見せる、避妊に協力しないなど）

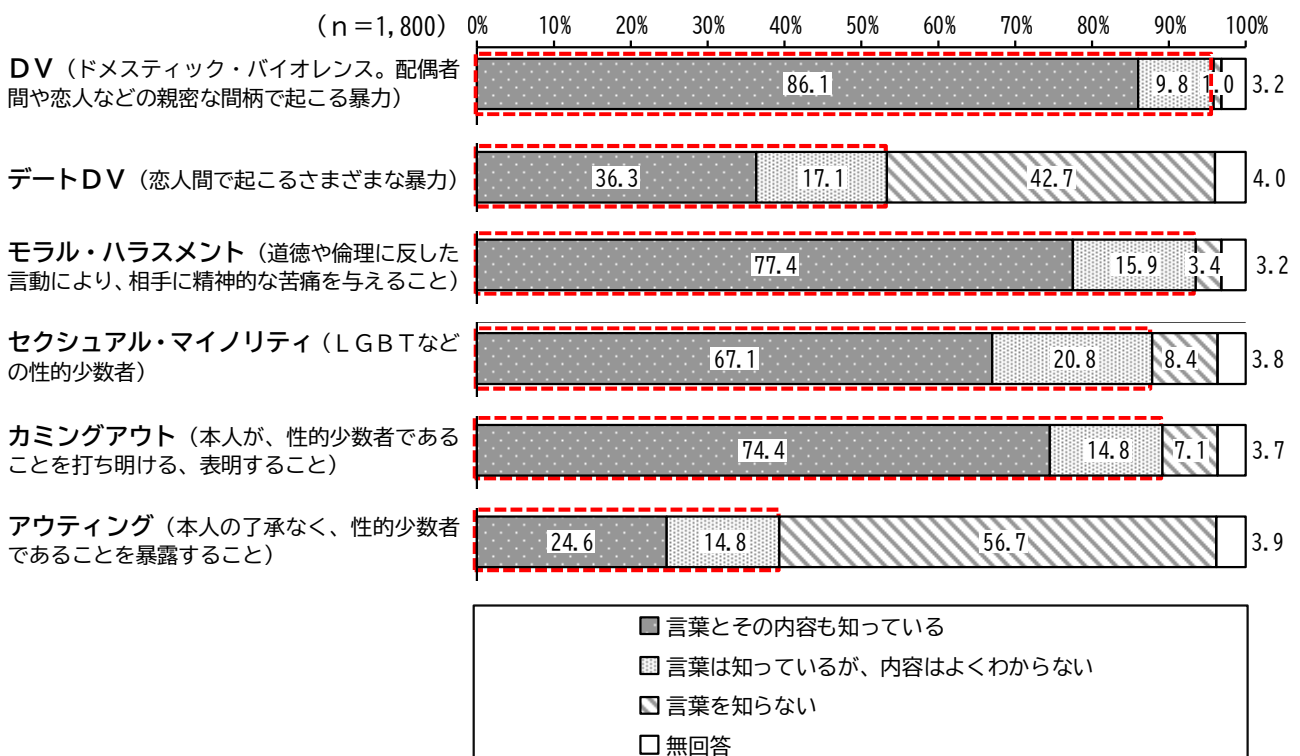
➤ 女性の28.4%（約4人に1人）、男性の12.4%（約8人に1人）は、配偶者等や交際相手からの暴力（DV）の被害経験がある。



言葉の認知度

⇒ 冊子 83～89 ページ

問 次のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。（単一選択）



V 行政課題について

男女平等参画の推進のために行政が力を入れていくべきこと ⇒ 冊子91～93ページ

➤ 回答の多かった上位3項目は

＜女性＞

- ①子育て支援・介護支援（48.6%）
- ②ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進（40.1%）
- ③性別による固定的な役割分担意識の解消など、男女平等参画に向けた意識啓発（37.5%）

＜男性＞

- ①子育て支援・介護支援（45.2%）
- ②性別による固定的な役割分担意識の解消など、男女平等参画に向けた意識啓発（37.8%）
- ③ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進（36.9%）

問 男女平等参画の推進のために、今後、行政は特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（3 つまで複数選択可）

